

事業所名

ライズ児童デイサービス楽音寺

## 支援プログラム（参考様式）

作成日

2024 年 12 月 1 日

法人（事業所）理念		本人の気持ちを大切に個性を強みに子どもたちの未来へ繋がります					
支援方針		「ゆったりとのんびりと」親戚のおじさんのお家へ遊びに来たかのように					
営業時間		平日 10 時 0 分から 19 時 0 分まで	土・祝日・長期休暇 9 時 0 分から 18 時 0 分まで	送迎実施の有無	<input checked="" type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし	
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	児童発達支援：排泄や食事などの身辺自立を中心に、健康に留意しながら成長できるような支援を行。必要に応じて「昼寝」の時間を確保するなど、生活リズムの安定を図る。 児童デイ：学年や年齢に応じて身だしなみを整えられるような声掛けを行う。更衣や外出準備などの身辺自立。					
	運動・感覚	児童発達支援：食事中や座学の際の姿勢保持。運動や動作を取り入れたリクリエーションの展開。つまむ・はさむなどの動作を含む課題取り組み。 児童デイ：バランスボールの提供。体の成長に合わせた着席場所（椅子や座卓の高さなど）への誘導。グラウンドや体育館を使用してのイベント開催。はさむ・つかむなどの動作を含む課題取り組みの提供。引っ張る・押すなどの動作を含む運動					
	認知・行動	児童発達支援：季節に応じたイベント開催。ゲームや遊びを通じた適切な行動の促し。次の行動への移行の際に「時刻の指定（時計の針が6の所に来たらお片付けを始めるよ、など）」の声掛けを通じた時間の認知の定着。 児童デイ：季節に応じたイベントの開催。曜日や時間、天気などの話題を取り入れた認知の向上。数唱を含む数の概念の定着やプリントを用いた空間認識の向上などの取り組みの実施。					
	言語コミュニケーション	児童発達支援：他者との関りの中でのコミュニケーション力の向上。学年や状況、本人のやる気に応じた座学の課題提供。終わりの会での発表体験。 児童デイ：他者との関りの中でのコミュニケーション力の向上。発語以外でのコミュニケーション方法（絵カードやジェスチャー）の獲得。終わりの会での発表体験。座学課題の提供。					
	人間関係社会性	児童発達支援：自己肯定向上につながるような働きかけ（ほめる・認める）。ごっこ遊びの展開。異年齢との交流（イベント開催時の着席場所を、高校生・中学生・小学生と混ぜるなど）の機会を増やす。 児童デイ：年少児との関りの機会を増やし、「お手本になる行動」につながるような働きかけを取り入れる。ゲームや遊びの中で友達同士でルールを考える機会を提供する。役割分担を決めてイベントに参加する。					
家族支援		送迎時の情報共有、相談の受付など		移行支援	他デイや相談支援事業所との情報共有を中心に、学年や本人の状況を踏まえてスムーズに社会に出て行く事の出来る環境の整備。進学や卒業後を見据えて個別支援計画の内容変更。就労支援事業所への挨拶。		
地域支援・地域連携		各学校園の先生方との情報交換・情報共有。行政の開催する交流会への参加。		職員の質の向上	定期的な面談、研修		
主な行事等		毎週末にお出かけ、クッキング、工作などイベントを行っている					